

7

放射横断観測

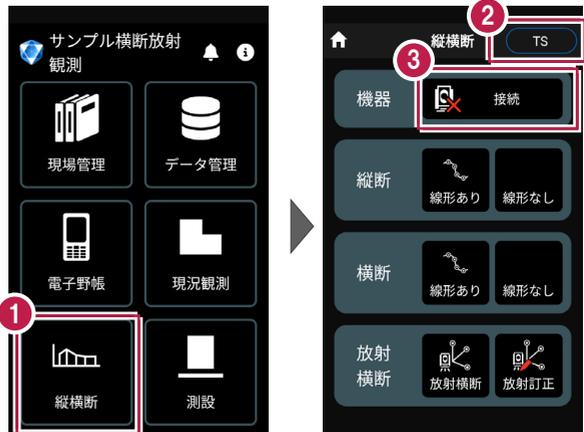
放射横断観測をおこないます。

放射横断観測で対応している測量機は“TS”のみです。

7-1 器械と接続する

FIELD-POCKETと、観測で使用する器械を接続します。
器械は電源を入れ、接続可能な状態にしておいてください。

- 1 ホーム画面の「縦横断」をタップします。
- 2 縦横断画面の右上で「TS」が選択されていることを確認します。
（「レベル」が表示されているときは「レベル」をタップして切り替えます。）
- 3 「機器」の「接続」をタップします。



「接続」の操作は「電子野帳」の「接続」と同様です。
詳しくは「電子野帳」の「器械と接続する」を参照してください。

7-2 放射横断観測をおこなう

放射横断観測をおこないます。

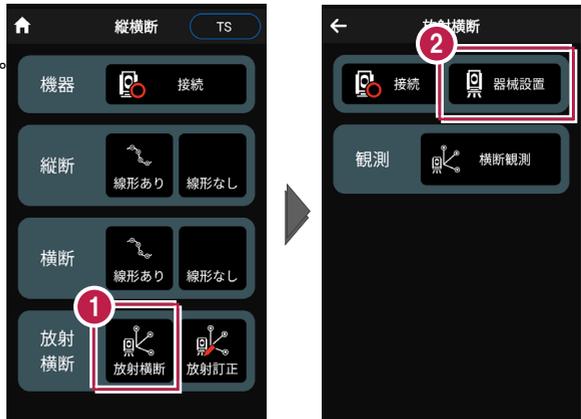
■ 放射横断を起動します

- 1 縦横断画面の [放射横断] の [放射横断] をタップします。

- 2 放射横断画面の [器械設置] をタップします。

[器械設置] の操作は [現況観測] の [器械設置] と同様です。

詳しくは「現況観測」の「既知点上に器械を設置する」「任意点
に器械を設置する（後方交會法）」を参照してください。



- 3 放射横断画面の [観測] の [横断観測] をタップします。



■ 放射観測します

- 1 [観測] をおこないます。



断面からの離れが表示されます。対象線形の全横断に対して一番近い値を表示します。断面離れの対象になった横断線はハイライト表示します。

- 2 器械点を変更するときは
[器械設置] をタップします。

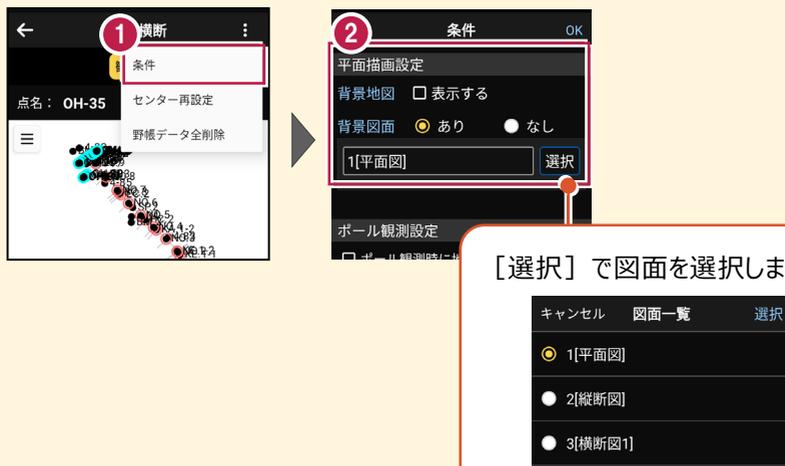
[器械設置] の操作は [現況観測] の [器械設置] と同様です。
詳しくは「現況観測」の「既知点上に器械を設置する」「任意点上に器械を設置する（後方交会法）」を参照してください。



- 3 [観測] をおこないます。

背景に CAD 図面を表示するには

図面が取り込まれている場合は、[条件] で背景に表示する図面を選択できます。
測設や観測の「平面」表示では、画面上が北（0度）になるように、図面が回転します。



7-3 属性を設定する

CADの左上の [メニュー] で観測点に属性を設定することができます。

■ 属性を設定します

- 1 CADの左上の [メニュー] をタップします。
- 2 属性（ [変化点] [センター] [控杭] [BM] [対象外] ）をタップして、属性を設定する観測点をタップします。



[凡例] で、マーク凡例を確認できます。



「センター視準（ポール入力あり）」の場合は、 で表示されます。

7-4 ポール観測をおこなう

CADの左上の [メニュー] の [ポール観測] でポール観測をおこないます。

- 1 CADの左上の [メニュー] をタップします。

- 2 [ポール観測] をタップします。

- 3 ポール観測の基準となる観測点をタップします。

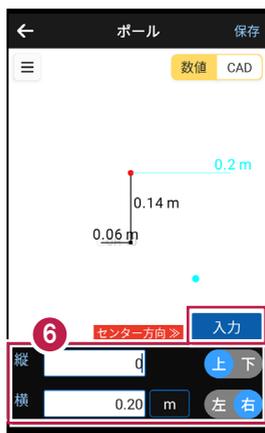


- 4 縦、横の長さ（ここでは、上方向に「0」、右方向に「0.06」）を入力して、[入力] をタップします。

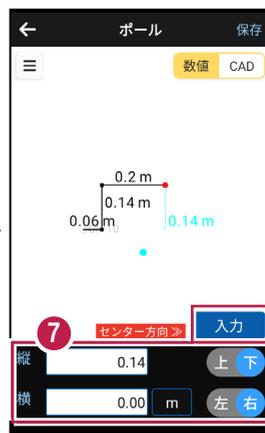
- 5 縦、横の長さ（ここでは、上方向に「0.14」、右方向に「0」）を入力して、[入力] をタップします。



6 縦、横の長さ（ここでは、上方向に「0」、右方向に「0.2」）を入力して、
[入力] をタップします。



7 縦、横の長さ（ここでは、下方向に「0.14」、右方向に「0」）を入力して、
[入力] をタップします。



8 観測を終了したら [保存] をタップします。



9 ポール観測を終了するので、
[ポール観測] の [×] を
タップします。



7-5 野帳データに変換する

放射横断観測データを野帳データに変換します。

- 1 放射横断画面の「野帳変換」をタップします。

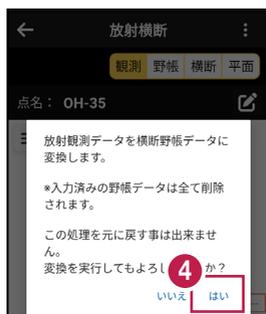
- 2 変換対象断面画面で断面を選択します。
ここでは全断面を選択するので「断面名」のチェックをオンにします。

- 3 「OK」をタップします。



- 4 確認のメッセージが表示されますので、「はい」をタップします。

- 5 変換終了のメッセージが表示されますので「閉じる」をタップします。



野帳変換での断面の 視準の有無の判断は

観測の位置と断面抽出幅の設定範囲で判定しています。断面抽出幅は「条件」の「断面抽出幅」で変更できます。



センターの属性を再設定する

観測点のセンター属性は、線形のセンターと近似している場合のみ設定できますが、線形を切り替えた場合などは、自動的に再設定されません。

線形を切り替えた場合などは「センター再設定」で、センター属性を再設定してください。



野帳データを全て削除する

「野帳データを全削除」で、野帳データを全て削除できます。

この処理は、元に戻すことができないので、注意してください。



7-6 野帳データを確認する

[野帳] ビューで変換された野帳データを確認します。

- 1 放射横断画面の [野帳] をタップします。
[野帳] ビューに切り替わり変換された野帳データが表示されます。



野帳データを編集する

[断面] で断面を編集できます。

[新規断面] : 新規断面を追加します。

[断面挿入] : 選択されている断面の前に断面を挿入します。

[断面削除] : 選択されている断面を削除します。

[断面情報] : 選択されている断面の情報を表示します。変更することもできます。

[成果確認] で横断成果をまとめて確認できます。



7-7 変換後の野帳データを訂正する

縦横断画面の〔放射横断〕の〔放射訂正〕で変換後の野帳データを訂正できます。

- 1 縦横断画面の〔放射横断〕の〔放射訂正〕をタップします。

- 2 器械点を選択します。

- 3 訂正する野帳データを選択します。
ここでは訂正する視準点を選択します。

- 4 〔視準点訂正〕をタップします。

- 5 視準点の点名、目標高、備考を訂正して、〔OK〕をタップします。

- 6 〔OK〕をタップします。



〔器械点詳細〕 〔器械点削除〕 〔視準点削除〕 について

〔器械点詳細〕：器械点の詳細（器械点名、後視点名、開始日時、終了日時）を表示します。

〔器械点削除〕：選択されている器械点データとその視準点データを削除します。

〔視準点削除〕：選択されている視準点データを削除します。